

(発行所) (株)エルエルアイ出版

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-27-4 靴下会館 7階

TEL 03-3868-0738 FAX 03-5809-3650

<http://www.lli-publisin g.com/>



建具技能グランプリ開催

中央職業能力開発協会と全国技能士会連合会の共催による第26回技能グランプリが3月4日から7日までの間、千葉県千葉市の幕張メッセを主会場として開催された。今回は26職種の花技が行われ、各職種の技能者の頂点を競った。

技能グランプリは技能尊重の風潮を醸成する目的から熟練技能者が技能の日本一を競い合う大会であり、出場する選手は、当該職種について特級、1級及び単一等級の技能検定に合格した技能士が条件となる。また、1級技能士で職業訓練指導員免許を持っている場合でも1年以上、実務経験のみの場合は7年以上の実務を経験した熟練技能者によって競技が行われる。

建具競技には15名が参加。茨城県、東京都、愛媛県、福岡県、鹿児島県から各1名。群馬県から2名。福井県から3名。前回の開催地であった兵庫県からは5名が参加した。

建具競技の課題は1間幅の中折れの衝立。材種は米ヒバと杉。ほぼ左右対称で、上下が逆の構成。自由課題の面積も大きく、確実な仕口加工と同時に競技者の感性を求められる課題となっている。競技は3月5日から翌日の6日まで実施。標準競技時間は11時間30分で打ち切りは12時間。作業時間内にどれだけ正確な木材加工と組み立て、それに自由課題を完成させるかが評価のポイントとなる。

競技者は会場に設置された加工機及び持参した道具を用いて支給された材料を課題に従って製作。杉板と自由課題との桧は剣留めにするなど、細かな点で加工精度が要求される。また、自由課題は最後に障子紙を貼って完成となる。墨付けから切り出し、仕口加工から組み立てに至る一連の作業に加え、自由課題も競技者は時間内に完了させなければならず、綿密な時間配分を計画することが重要と言える。

【詳細は本誌3月号】

